

## 平成15年度商店街実態調査の概要

## 1. 調査結果のポイント

<b>商店街の景況は、引き続き厳しい状況</b>	
停滞または衰退している商店街は96.6%を占める。 一方、繁栄している商店街は2.3%。	(第1図)
地域型、近隣型の商店街ほど、衰退している割合が高い。	(第3表)
<b>人材育成や個店の改善が課題</b>	
商店街の大きな問題点は、「経営者の高齢化等による後継者難」67.1%、「魅力のある店舗が少ない」66.3%の2項目の割合が高い。	
前回調査までは、「大規模店との競合」が大きな問題点であったが、今回は「後継者難」や「個店の改善」が問題となっている。	(第5表)
今後強化する必要がある事業は「個店の改善・活性化」が68.5%と最も高い。	(第2図)

## 2. 主な調査の概要

商店街の平均構成員数は56名、平均店舗数は53店舗

第1表 商店街の平均構成員数と平均店舗数

調査年度	商店街の平均構成員数	商店街の平均店舗数
平成12年度	45.74名	56.20店舗
平成15年度	43.66名	53.34店舗

商店街の空き店舗率は7.31% (平均空き店舗数は3.90店舗)

第2表 空き店舗率(過年度比較)

年度	空き店舗率	前回調査比
平成7年度	6.87%	-
平成12年度	8.53%	1.66%
平成15年度	7.31%	1.22%

商店街タイプ別の<sup>1</sup>空き店舗率

近隣型商店街	7.96%	広域型商店街	5.30%
地域型商店街	7.63%	超広域型商店街	1.81%

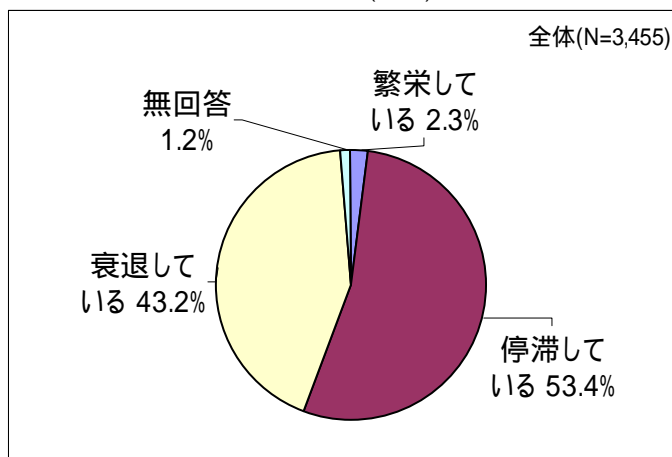
(注) 空き店舗比率の低下は、以前空き店舗だったものが、駐車場や住宅等となり減少したことも寄与しているものと考えられる。

<sup>1</sup> 商店街の商業集積のタイプについて以下の説明をつけて調査を行った。

1. 近隣型商店街: 最寄品中心で地元主婦が日用品などを徒歩または自転車などにより日常性の買い物をする商店街
2. 地域型商店街: 最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
3. 広域型商店街: 百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品店より買回り品店が多い商店街
4. 超広域型商店街: 百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離からの来街者が買い物をする商店街

商店街の最近の景況感

第1図 商店街の最近の景況(SA)



第3表 商店街タイプ別の景況感

	繁栄している	停滞している	衰退している
近隣型商店街	0.8%	48.5%	49.7%
地域型商店街	3.0%	58.8%	37.1%
広域型商店街	7.1%	62.8%	27.1%
超広域型商店街	16.2%	72.1%	10.3%

第4表 最近の景況(過年度比較)

	繁栄している	停滞している	衰退している	無回答
平成7年度	2.7%	43.6%	51.1%	2.6%
平成12年度	2.2%	52.8%	38.6%	6.3%
平成15年度	2.3%	53.4%	43.2%	1.2%

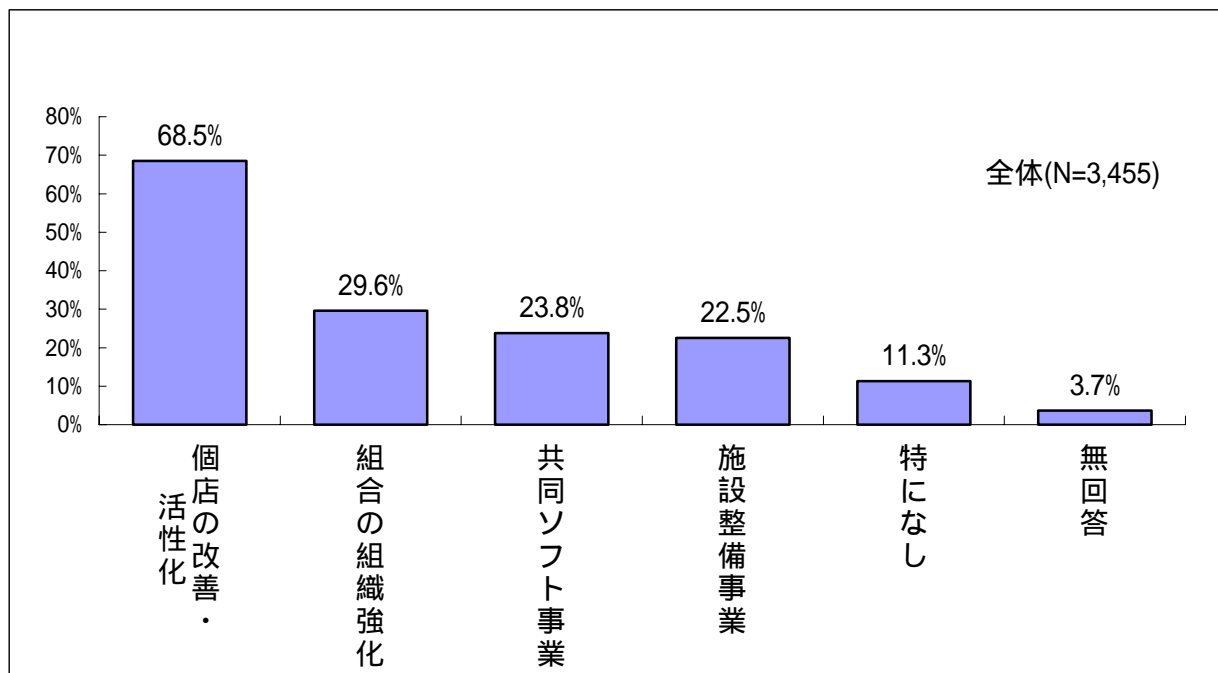
商店街の問題と取り組み

第5表 商店街における大きな問題<sup>2</sup>

回答割合順位	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成15年度
1位	駐車場がない (41.4%)	大規模店に客足がとられている (75.7%)	魅力ある店舗が少ない (72.8%)	経営者の高齢化等による後継者難 (67.1%)
2位	域外の大規模小売店舗に客足がとられている (38.5%)	後継者難 (63.9%)	大規模店に客足がとられている (72.3%)	魅力ある店舗が少ない (66.3%)
3位	全般的に店舗規模が過小 (38.5%)	大規模店出店ラッシュに押され気味 (60.6%)	商店街活動への商業者の参加意識が薄い (65.0%)	商店街活動への商業者の参加意識が薄い (55.7%)
4位	業種構成に問題がある (25.7%)	商圏人口の減少 (57.5%)	経営者の高齢化等による後継者難 (61.6%)	核となる店舗がない (51.8%)
5位	非商店が多いため、商店街が断続的である (21.8%)	駐車場がない (54.3%)	大規模店に押され気味 (58.8%)	店舗の老朽化・陳腐化 (48.2%)
6位	商店の歯抜け現象が進行 (20.7%)	(まちづくりに対する)住民の参加意識が薄い (52.7%)	商圏人口の減少 (56.4%)	駐車場の不足 (37.2%)
7位	後継者難 (18.3%)	全般に店舗規模が過小 (51.6%)	駐車場がない (54.0%)	大規模店との競合 (36.9%)

<sup>2</sup> (平成2年度調査) 商店街の当面している問題点として、23項目から3つに をつける  
 (平成7年度調査) 商店街の大きな問題点として、24項目について「大きな問題である」「大きな問題ではない」のいずれかに をつける  
 (平成12年度調査) 商店街の大きな問題点として、26項目について「大きな問題である」「大きな問題ではない」のいずれかに をつける  
 (平成15年度調査) 商店街の大きな問題点として、13項目から をつける

第2図 今後取り組みを強化する必要がある事業(MA)



### 3. 調査の概要

調査対象	商店街(商店街振興組合、事業協同組合、任意団体)
調査方法	郵送による発送・回収
調査時点	平成15年10月1日現在
調査期間	アンケートの発送(平成15年10月27日)
発送数	8,000
調査票の回収	・アンケートの締め切り (督促ハガキを発送し、平成15年12月26日回収分迄を有効とした) ・有効回答数3,455(43.2%)